

△9)糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。

(2)診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

1) ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。

2) 血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。

3) 甲状腺疾患と副腎疾患の検査を概説できる。

△4)ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。

△5)ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。

(3)症候

(【肥満・やせ】【月経異常】はE1参照)

①低身長

到達目標:

△ 1) 低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。

②甲状腺腫

到達目標:

1) 甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。

△ 2) 甲状腺の触診ができる。

(4)疾患

①視床下部・下垂体疾患

到達目標:

1) クッシング病の病態と診断を説明できる。

2) 先端巨大症を概説できる。

3) 汎下垂体機能低下症を概説できる。

4) 尿崩症を概説できる。

△5) 成長ホルモン分泌不全性低身長を概説できる。

△6) 視床下部・下垂体の画像検査の意義と適応を説明できる。

△7) 高プロラクチン血症を概説できる。

△8) ADH 不適切分泌症候群を概説できる。

△9) 下垂体腫瘍の外科的治療を説明できる。

②甲状腺疾患

到達目標:

- 1)バセドウ病の病態、症候、診断と治療を説明できる。
 - 2)甲状腺炎(慢性・亜急性)を概説できる。
 - 3)甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。
- △ 4)甲状腺腫瘍を分類し、その特徴を説明できる。
△5)甲状腺疾患の外科的治療の適応と合併症を説明できる。

③副甲状腺(上皮小体)疾患とカルシウム代謝異常

到達目標:

- 1)カルシウム代謝の異常を疾患と関連づけて説明できる。
 - 2)副甲状腺機能の亢進症と低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。
- △ 3)悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症を概説できる。
△4)偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。

④副腎皮質・髄質疾患

到達目標:

- 1)クッシング症候群の病態、症候と診断を説明できる。
 - 2)アルドステロン過剰症を概説できる。
 - 3)褐色細胞腫を概説できる。
- △4)副腎不全(急性・慢性)の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
△5)先天性副腎皮質過形成を概説できる。
△6)神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍(腎芽腫、胚芽腫、奇形腫)との鑑別点を説明できる。

⑤糖代謝異常

到達目標:

- 1)糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。
 - 2)糖尿病の急性合併症を説明できる。
 - 3)糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。
 - 4)糖尿病の治療(食事療法、運動療法、薬物治療)を概説できる。
- △5)低血糖症を概説できる。

⑥脂質代謝異常

到達目標:

- 1)高脂血症の分類、病因と病態を説明できる。
- △2)高脂血症の予防と治療を説明できる。

⑦タンパク質および核酸代謝異常

到達目標:

- 1) 血清タンパク質の異常を概説できる。
- 2) 高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。
- △3) アミロイドーシスを概説できる。

⑧ビタミンの欠乏と過剰

到達目標:

- 1) ビタミン欠乏症と過剰症を概説できる。

⑨先天性代謝疾患

到達目標:

- △1) 主な先天性代謝疾患(フェニルケトン尿症、ガラクトース血症、ホモシスチン尿症、メープルシロップ尿症)を概説できる。
- △2) ヘモクロマトーシスを概説できる。
- △3) ポルフィリアを概説できる。
- △4) ウイルソン病を概説できる。

(11) 眼・視覚系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①屈折異常(近視、遠視、乱視)		○	◎
②角結膜炎		○	◎
③白内障		○	◎
④緑内障		○	◎
⑤糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 13 眼・視覚系

一般目標: 眼・視覚系疾患の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

(1) 構造と機能

到達目標

- 1) 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。
- 2) 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。
- 3) 眼球運動のしくみを説明できる。

4) 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。

(2) 診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

1) 基本的眼科検査(視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査)を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。

(3) 症候

(【めまい】【頭痛】【悪心・嘔吐】はE1参照)

到達目標:

1) 眼・視覚系に関する主要症候(視力障害、視野異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛)を列

挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。

(4) 疾患

到達目標

1) 屈折異常(近視、遠視、乱視)と調節障害の病態生理を説明できる。

2) 伝染性結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。

3) 白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。

4) 緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。

5) 裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。

6) 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。

△7) ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。

△8) うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。

△9) 視神経症の病因、症候と診断を説明できる。

△10) 化学外傷(アルカリ、酸)の症候と救急処置を説明できる。

△11) 色覚多様性(色覚障害)を概説できる。

△12) 網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。

△13) 網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。

△14) 網膜中心動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。

(12)耳鼻・咽喉・口腔系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①中耳炎		○	◎
②急性・慢性副鼻腔炎		○	◎
③アレルギー性鼻炎		○	◎
④扁桃の急性・慢性炎症性疾患		○	◎
⑤外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

<p>C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 14 耳鼻・咽喉・口腔系</p> <p>一般目標:耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。</p> <p>(1)構造と機能 到達目標: 1)外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 2)聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 3)口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 4)喉頭の機能と神経支配を説明できる。 △5)平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。 △6)味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。</p> <p>(2)診断と検査の基本 到達目標: (身体診察はE3参照) 1)聴力検査と平衡機能検査を説明できる。 △2)味覚・嗅覚検査を説明できる。</p> <p>(3)症候 (【めまい】【嚥下困難・障害】はE1参照) 到達目標: 1)難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と嚙声をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。</p>
--

(4)疾患

到達目標:

- 1) 滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。
- 2) 伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。
- 3) 末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。
- 4) 鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。
- 5) 副鼻腔炎の病態と治療を説明できる。
- 6) アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。
- 7) 扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。
- 8) 喉頭癌の症候、診断と治療を説明できる。
- 9) う歯と歯周病を概説できる。
- 10) 気管切開の適応を説明できる。
- △ 11) 鼻腔・副鼻腔、口腔、咽頭の悪性腫瘍を概説できる。
- △ 12) 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。
- △ 13) 顔面・頸部外傷の症候と診断を説明できる。
- △ 14) 唾液腺疾患を列挙できる。

(13)精神・神経系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①症状精神病	△	○	◎
②認知症(血管性認知症を含む。)	△	○	◎
③アルコール依存症		○	◎
④気分障害(うつ病、躁うつ病を含む。)	△	○	◎
⑤統合失調症(精神分裂病)	△	○	◎
⑥不安障害(パニック症候群)	△	○	◎
⑦身体表現性障害、ストレス関連障害	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 15 精神系

一般目標:精神と行動の障害に対して、全人的な立場から、病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係にもとづいた全人的医療を学ぶ。

(1)診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 患者-医師の良好な信頼関係にもとづく精神科面接の基本を説明できる。
- 2) 精神科診断分類法(多軸診断システムを含む)を説明できる。
- 3) 精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健福祉法、心神喪失者等医療観察法、インフォームドコンセント)を説明できる。
- 4) コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。
- △5) 心理検査法の種類と概要を説明できる。

(2) 症候

到達目標:

- 1) 不安・そううつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。
- 2) 不眠と幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断と治療を説明できる。

(3) 疾患・障害

到達目標:

- 1) 症状精神病の概念と診断を概説できる。
- 2) 認知症の診断と治療を説明できる。
- 3) 薬物の乱用、依存、離脱の病態と症候を説明できる。
- 4) アルコール依存症の病態、診断と合併症を説明できる。
- 5) 統合失調症の急性期の診断と救急治療を説明できる。
- 6) 統合失調症の慢性期の症候と診断を説明できる。
- 7) うつ病の症候と診断を説明できる。
- 8) そううつ病(双極性障害)の症候と診断を説明できる。
- 9) 不安障害(パニック、恐怖症性あるいは全般性不安障害)の症候と診断を説明できる。
- 10) ストレス関連疾病の症候と診断を説明できる。
- 11) 心身症(摂食障害を含む)の症候と診断を説明できる。
- △12) 主な精神疾患・障害の治療を概説できる。
- △13) 解離性障害(ヒステリー)の症候、診断と治療を説明できる。
- △14) 身体表現性障害の症候、診断と治療を説明できる。
- △15) 人格障害を概説できる。
- △16) 精神遅滞(知的障害)と広汎性発達障害(自閉症)を概説できる。
- △17) 多動性障害と行為障害を概説できる。

(14) 感染症

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)		○	◎
②細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア)		○	◎
③結核		○	◎
④真菌感染症(カンジダ症)		○	◎
⑤性感染症		○	◎
⑥寄生虫疾患		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 1 感染症

一般目標: 主な感染症の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1) 病態

到達目標:

- 1) 病原体に対する生体の反応を説明できる。
 - 2) 敗血症の症候、診断と治療の基本を説明できる。
 - 3) 菌交代現象・菌交代症を概説できる。
 - 4) 日和見感染症を説明できる。
 - 5) 下痢症、食中毒を起こす病原体を列挙し、診断と治療の基本を説明できる。
 - 6) 新興感染症・再興感染症を列挙できる。
- △7) 全身性炎症(性)反応症候群(SIRS)を概説できる。

(2) 診断・検査・治療の基本

到達目標:

- 1) 主な感染症の原因となる病原体を分類できる。
 - 2) 細菌学的診断と血清学的診断を概説できる。
 - 3) 感染症の化学療法を概説できる。
- △4) 感染症の DNA 診断法を概説できる。
- △ 5) 予防接種の適応と意義を説明できる。

(3) 症候

(【ショック】【発熱】【けいれん】【意識障害・失神】【チアノーゼ】【脱水】【全身倦怠感】【黄疸】【発疹】【リンパ節

腫脹】【浮腫】【胸水】【胸痛】【呼吸困難】【咳・痰】【血痰・咯血】【頭痛】【腹痛】【悪心・嘔吐】
【下痢】【吐血・下血】【タンパク尿】【血尿】【関節痛・関節腫脹】【腰背部痛】はE1参照)

(4) 病態と疾患

① ウイルス感染症・プリオン病

到達目標:

- 1) インフルエンザの症候、診断と治療を説明できる。
- 2) 麻疹の症候と診断を説明できる。
- 3) 風疹の症候、診断と合併症を説明できる。
- 4) 流行性耳下腺炎の症候、診断と合併症を説明できる。
- 5) 水痘・帯状疱疹ウイルス感染症の症候、診断と治療を説明できる。
- 6) ウイルス性皮膚疾患(単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、ウイルス性ゆがぜい)を概説できる。
- 7) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の感染経路、自然経過、症候、診断、治療と感染対策を説明できる。
- △8) 突発性発疹の症候と診断を説明できる。
- △9) 咽頭結膜熱の症候と診断を説明できる。
- △10) サイトメガロウイルス感染症の症候、診断と治療を説明できる。
- △11) 伝染性単核(球)症の症候と診断を説明できる。
- △12) プリオン病(クロイツフェルト・ヤコブ病、ウシ海綿状脳症(BSE))を概説できる。
- △13) ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)感染症の症候、診断と治療を説明できる。

② 細菌感染症

到達目標:

- 1) ブドウ球菌感染症の症候、診断と治療を説明できる。
- 2) A群レンサ球菌感染症の症候、診断、治療とリウマチ熱との関連を説明できる。
- 3) 結核の病因、症候、診断、治療と予防を説明できる。
- 4) 病原性大腸菌感染症を概説できる。
- △5) ジフテリア、破傷風と百日咳の症候、診断と予防を説明できる。
- △6) 劇症溶連菌感染症を概説できる。
- △7) インフルエンザ(桿)菌と肺炎レンサ球菌感染症を概説できる。
- △8) 新生児B群レンサ球菌感染症を概説できる。

③ クラミジア・リケッチア感染症

到達目標:

- 1) クラミジア感染症を概説できる。
- △2) リケッチア感染症を概説できる。

④真菌感染症と寄生虫症

到達目標:

- 1)カンジダ症の症候、診断と治療を説明できる。
- 2)ニューモシチス肺炎の症候、診断と治療を説明できる。
- 3)主な寄生虫症(回虫、アニサキス、吸虫)を説明できる。
- 4)主な原虫疾患(マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢)を説明できる。
- △5)クリプトスポリジウム症、ジアルジア症(ランブル鞭毛虫症)、エキノコックス症を概説できる。
- △6)クリプトコッカス症とアスペルギルス症の症候、診断と治療を説明できる。

⑤性行為感染症

到達目標:

- 1)性行為感染症を概説できる。

⑥院内感染

到達目標:

- 1)院内感染の病因となる病原体を列挙し、対策を説明できる。
- 2)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の特徴、病院内での対応の方法を説明できる。

(15)免疫・アレルギー疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①全身性エリテマトーデスとその合併症		○	◎
②慢性関節リウマチ	△	○	◎
③アレルギー疾患		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

D 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療 3 免疫・アレルギー疾患

一般目標:免疫・アレルギー疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。

(1)診断と検査の基本

到達目標:

- 1)自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。

(2)症候

(【ショック】【発熱】【全身倦怠感】【発疹】【貧血】【リンパ節腫脹】【浮腫】【呼吸困難】【咳・痰】
【タンパク尿】【関節痛・関節腫脹】はE1参照)

(3) 病態と疾患

① 自己免疫疾患一般

到達目標:

- 1) 膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。
- 2) 関節炎をきたす疾患を列挙できる。
- 3) レイノー症状を説明し、原因疾患を列挙できる。

② 全身性エリテマトーデス

到達目標:

- 1) 全身性エリテマトーデスの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
 - 2) 全身性エリテマトーデスの合併症(中枢神経ループス、ループス腎炎)を説明できる。
- △3) 抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。

③ 強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎

到達目標:

- 1) 強皮症の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
- 2) 強皮症の臓器病変(特に肺・腎)を説明できる。
- 3) 皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断と治療を説明できる。

④ 慢性関節リウマチ

到達目標:

- 1) 慢性関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。
- △2) 慢性関節リウマチの関節外症状を説明できる。
△3) 悪性関節リウマチの症候、診断と治療を説明できる。
△4) 若年性関節リウマチの特徴を説明できる。
△5) 成人スチル病を概説できる。

⑤ 血管炎症候群、シェーグレン症候群、ベーチェット病とその他

到達目標:

- 1) 混合性結合組織病(MCTD)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
 - 2) 血管炎症候群を列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
 - 3) シェーグレン症候群を概説できる。
 - 4) ベーチェット病を概説できる。
- △5) 川崎病の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。

⑥ アレルギー

到達目標:

- 1) アレルギー疾患の特徴とその発症を概説できる。

- 2) アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。
 3) 薬物アレルギーを概説できる。

⑦ 先天性免疫不全症

到達目標:

- 1) 先天性免疫不全症の病態、診断と治療を説明できる。

(16) 物理・化学的因子による疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
① 中毒(アルコール、薬物)	△	○	◎
② アナフィラキシー		○	◎
③ 環境要因による疾患(熱中症、寒冷による障害)		○	◎
④ 熱傷	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 4 物理・化学的因子による疾患

一般目標: 中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。

(1) 診断と検査の基本

到達目標:

- △1) 中毒患者の検査と起因为物質の分析を概説できる。

(2) 症候

(【ショック】【発熱】【意識障害・失神】【チアノーゼ】【脱水】【黄疸】【発疹】【貧血】【呼吸困難】
 【運動麻痺・筋力低下】【腹痛】【悪心・嘔吐】【下痢】【吐血・下血】【尿量・排尿の異常】はE1 参照)

(3) 疾患

① 中毒

到達目標:

- 1) 細菌性食中毒の病因、症候と治療を説明できる。
 2) 急性アルコール中毒の症候、診断と治療を説明できる。
 3) 有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。
 △4) 一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。
 △5) 睡眠薬、向精神薬と解熱・鎮痛薬による中毒の診断と治療を説明できる。
 △6) 麻薬・覚醒剤中毒の症候、依存、離脱症状と治療を説明できる。

- △7) 重金属中毒を概説できる。
 △8) フグとキノコ中毒を概説できる。

②環境要因による疾患

到達目標:

- 1) 高温による障害を説明できる。
 △2) 寒冷による障害を説明できる。
 △3) 動揺病、振動障害と騒音障害を説明できる。

③熱傷

到達目標:

- 1) 熱傷面積(9の法則)と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。
 △2) 熱傷時の体液変化を説明できる。
 △3) 熱傷の治療方針を概説できる。

(17)小児疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①小児けいれん性疾患	△	○	◎
②小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)	△	○	◎
③小児細菌感染症	△	○	◎
④小児喘息	△	○	◎
⑤先天性心疾患	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 5 成長と発達

一般目標: 胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。

(1)胎児・新生児

到達目標:

- 1) 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。
 2) 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。
 3) 主な先天性疾患を列挙できる。
 4) 新生児の生理的特徴を説明できる。

- 5) 胎児・新生児仮死の分類を説明できる。
- 6) 新生児マススクリーニングを説明できる。
- 7) 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。
- 8) 新生児期の呼吸困難の病因を列挙できる。
- △9) 正常児・低出生体重児・病児の保育の基本を説明できる。
- △10) 低出生体重児固有の疾患を概説できる。
- △11) 救急を要する新生児疾患(新生児けいれん性疾患を含む)を概説できる。

(2) 乳幼児

到達目標:

- 1) 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。
- 2) 乳幼児の精神運動発達の異常を説明できる。
- 3) 乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。
- △4) 乳児突然死症候群を説明できる。

(3) 小児期全般

到達目標:

- 1) 小児の精神運動発達を説明できる。
- 2) 小児の栄養上の問題点を列挙できる。
- 3) 小児の免疫発達と感染症の関係を概説できる。
- 4) 小児保健における予防接種の意義を説明できる。
- 5) 成長に関わる主な異常を列挙できる。
- △6) 児童虐待を概説できる。
- △7) 小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。
- △8) 小児行動異常(注意欠陥多動障害 (ADHD)、自閉症、学習障害、チック)を列挙できる。

(4) 思春期

到達目標:

- 1) 思春期発現の機序と性徴を説明できる。
- △2) 思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。

(18) 加齢と老化

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①高齢者の栄養摂取障害		○	◎
②老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 6 加齢と老化

一般目標: 老化に伴う生理的变化、老年者に特有な疾患の概念と介護に関わる問題を学ぶ。

到達目標:

- 1) 高齢者の心理・精神の変化を理解し、対応できる。
- 2) 加齢に伴う臓器の構造と機能の変化を説明できる。
- 3) 高齢者における病態・症候・治療の特異性を説明できる。
- △4) 高齢者における治療上の留意点を説明できる。
- △5) 高齢者の栄養摂取の特殊性を説明できる。
- △6) 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)の病態、治療と予防を説明できる。
- △7) 高齢者における総合機能評価法(CGA)を説明できる。
- △8) 高齢者の生活支援の要点を概説できる。

コメント

卒前実習では、発生頻度が高い疾患や重要度の高い疾患の実習が望まれる。大学付属病院では、発生頻度の高い疾患を経験する機会は市中病院や診療所と比べて少ないため、市中病院や地域での実習をカリキュラムに取り入れるなどの工夫が必要であると考えられる。

II 経験目標

C 特定の医療現場の経験

必修項目にある現場の経験とは、各現場における到達目標の項目のうち一つ以上経験すること。

記号の説明

MCC=医学教育モデル・コア・カリキュラム

△=指導医の指導と直接監督のもとに実施が許容されるもの(direct supervision)

○=指導医の指導のもとに状況によっては直接監督がなくとも実施が許容されるもの(indirect supervision)

◎=指導医の指導のもとに、直接監督がなくとも実施が許容され、○より高いレベルの目標が求められるもの

(注) MCC では最低限の目標を設定している。

(1)救急医療

生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応をするために、

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
1)バイタルサインの把握ができる。	△	○	◎
2)重症度及び緊急度の把握ができる。	△	○	◎
3)ショックの診断と治療ができる。	△	○	◎
4)二次救命処置 (ACLS = Advanced Cardiovascular Life Support、呼吸・循環管理を含む。)ができる。※ ACLS は、バッグ・バルブ・マスク等を使う心肺蘇生法や除細動、気管挿管、薬剤投与等の一定のガイドラインに基づく救命処置を含み、BLS には、気道確保、心臓マッサージ、人工呼吸等機器を使用しない処置が含まれる。		○	◎
5)頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。		○	◎
6)専門医への適切なコンサルテーションができる。		○	◎
7)大災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる。	△	○	◎
(必修項目) 救急医療の現場を経験すること	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

G 臨床実習 4 救急医療臨床実習

一般目標:

緊急に対応すべき疾患の病態、診断と治療を学ぶ。

到達目標:

- 1) 救急病態の救命治療を介助できる。
- 2) 初期救急病態を鑑別し、初期治療を介助できる。
- 3) 外傷の処置を介助できる。
- 4) 救急医療体制を説明できる。

実習形態: 救急系外来・病棟、集中治療室など

症 例: (重症救急病態)救命治療に参加する。

心肺停止

ショック

急性中毒

広範囲熱傷

多発外傷

(初期救急病態)鑑別ができ初期治療に参加する。(E参照)

発熱

脱水

けいれん

意識障害

頭痛

めまい

動悸

胸痛

呼吸困難

喀血

腹痛

嘔吐

吐血・下血

下痢

血尿

コメント

救急医療は初期研修医にとって最も大事な教育の場であり、緊急に対応すべき疾患の病態への理解およびその診断と治療は、重要な最低限の学習目標である。卒前実習でも、このような救急医療の現場を経験し、十分な学習を行っておくことが望まれる。

(2) 予防医療

予防医療の理念を理解し、地域や臨床の場での実践に参画するために、

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
1) 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネージメントができる。	△	○	◎
2) 性感染症予防、家族計画を指導できる。	△	○	◎
3) 地域・産業・学校保健事業に参画できる。	△	○	◎
4) 予防接種を実施できる。		○	◎
(必修項目) 予防医療の現場を経験すること	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

F 医学・医療と社会

(3) 疫学と予防医学

一般目標:

保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。

到達目標:

- 1) 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。
- 2) 疾病の定義、分類と国際疾病分類(ICD)を説明できる。
- 3) 疾病・有病・障害統計、年齢調整率と標準化死亡比(SMR)を説明できる。
- 4) 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。
- 5) 予防医学(一、二、三次予防)を概説できる。
- △6) 生命関数表(平均余命と平均寿命)を説明できる。
- △7) 健康管理、健康診断とその事後指導を説明できる。

(4) 生活習慣と疾病

一般目標:

生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防治療について学ぶ。

到達目標:

- 1) 生活習慣に関連した疾病を列挙できる。
- 2) 生活習慣と肥満・高脂血症・動脈硬化の関係を説明できる。
- 3) 生活習慣と糖尿病の関係を説明できる。
- 4) 生活習慣と高血圧の関係を説明できる。
- 5) 生活習慣とがんの関係を説明できる。
- 6) 喫煙と疾病の関係を説明できる。

(5)保健、医療、福祉と介護の制度

一般目標:

保健、医療、福祉と介護の制度の内容を学ぶ。

到達目標:

- 1)日本における社会保障制度を説明できる。
- 2)医療保険と公費医療や介護保険を説明できる。
- 3)高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。
- 4)産業保健を概説できる。
- 5)医療の質の評価(質の定義、クリティカル・パス)を説明できる。
- 6)国民医療費の収支と将来予測を概説できる。
- 7)医師法と医療法を概説できる。
- 8)医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。
- △9)医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。
- △10)医療従事者の資格免許、現状と役割、連携とチーム医療を説明できる。
- △11)感染症法・食品衛生法の概要と届け出義務を説明できる。
- △12)予防接種の意義と現状を説明できる。
- △13)医師法と医療法以外の医療関係法規を概説できる。

コメント

予防医療への関心を養い、その重要性について充分理解し、その実践が可能な医療人を育成するために、地域における予防医療の現場に参画する機会を学生実習の段階で行うことが望ましい。

(3)地域保健・医療

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
1)保健所の役割(地域保健・健康増進への理解を含む。)について理解し、実践する。	△	○	◎
2)社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。	△	○	◎
3)診療所の役割(病診連携への理解を含む。)について理解し、実践する。	△	○	◎
4)へき地・離島医療について理解し、実践する。	△	○	◎
(必修項目)へき地・離島診療所、中小病院・診療所、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施設等の地域保健・医療の現場を経験すること。	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

F 医学・医療と社会

(2) 地域医療

一般目標:

地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身に付ける。

到達目標:

- 1) 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。
 - 2) へき地および離島における地域医療の現状と課題について説明できる。
 - 3) 医師の偏在(地域及び診療科)の現状について説明できる。
 - 4) 地域における、保健(母子保健、老人保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間の連携及び多職種間の連携の必要性について説明できる。
 - 5) 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。
 - 6) 地域における、救急医療、災害医療、在宅ターミナルの体制を説明できる。
- △7) 災害救急医療におけるトリアージを説明できる。
- △8) 地域医療に積極的に参加・貢献する。

G 臨床実習 5 地域医療臨床実習

一般目標:

地域社会(へき地・離島を含む)で求められる医療・保健・福祉・介護の活動について学ぶ。

到達目標:

- 1) 地域のプライマリ・ケアを体験する。
- 2) 病診連携・病病連携を体験する。
- 3) 地域の救急医療、在宅医療を体験する。
- 4) 多職種連携のチーム医療を体験する。
- 5) 地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。

実習形態: 学外の地域病院、診療所、保健所、社会福祉施設など

症例: 地域病院あるいは診療所などの状況に応じた症例

コメント

地域保健に貢献できる医師を養成するために、地域医療の在り方と現状を把握できるようにして、患者のケアについて全人的に考えることを促すためには、地域医療について卒前実習においても十分に経験することが望まれる。